



## 第22回参議院選挙中盤戦に向けて

### 檄

日本労働組合総連合会

会長 古賀 伸明

6月24日に公示された第22回参議院選挙は6日間が経過し、選挙戦も中盤を迎えている。全国各地で日々ご奮闘いただいている構成組織、地方連合会の皆さんに心より敬意を表したい。

マスコミの事前調査によれば、今次参院選において民主党は、比例区選挙では堅実な闘いを進めているものの、11名の連合組織内比例候補は予断を許さない状況にある。

選挙区選挙では、与野党とも懸命の闘いを進めており、序盤の状況は熾烈を極め、特に一人区を中心に接戦が繰り広げられている。

中盤戦に向け、比例区選挙においては連合組織内候補者の個人名での投票の徹底、選挙区選挙においては積極果敢な取り組みにより、今こそ連合の持てるすべての力を出し切っていく必要がある。法令を遵守し、棄権防止・「投票に行こう！」運動の展開を一層強め、組合員及びその家族や友人、知人に不在者投票を含む期日前投票を徹底し、万全を期していかなければならない。

政権交代以降、予算のムダ削減、子育て支援や医療・介護分野への重点的な予算配分への転換など、官僚主導・利益誘導型政治からの変革に果敢に挑み、これまでの政権では試みもされなかった抜本改革がようやく緒についたばかりである。この改革の流れを止めず、安定した政権運営を行うためにも今次参議院選挙は極めて重要な選挙となる。連立与党の安定過半数獲得が必要不可欠であり、何としてもこの選挙戦を勝ち抜かなければならない。

連合は、希望と安心の社会づくりの実現に向けて、「いまが踏ん張りどころ、見えない政治に戻さない。」「働く者のための政治へ、連合は行動する。」を合い言葉に、すべての組織内比例候補者と推薦候補者の勝利をめざして闘い抜く。

残された11日間、構成組織、地方連合会の皆さんのご奮闘を心から要請し、680万組合員の総力を結集し、連合のもてるすべての力を出し切っていこう！

以上

**「棄権防止・投票促進」運動を徹底しよう!**

～ 毎日が投票日! 「期日前投票」～

